

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公表番号】特表2008-520745(P2008-520745A)

【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2007-543468(P2007-543468)

【国際特許分類】

C 07 D 471/04	(2006.01)
A 61 K 31/437	(2006.01)
C 07 D 487/04	(2006.01)
A 61 K 31/4985	(2006.01)
A 61 P 9/00	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 25/18	(2006.01)
A 61 P 37/00	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 31/12	(2006.01)
A 61 P 19/00	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 15/10	(2006.01)
A 61 P 27/06	(2006.01)

【F I】

C 07 D 471/04	1 0 6 C
C 07 D 471/04	C S P
A 61 K 31/437	
C 07 D 487/04	1 4 1
A 61 K 31/4985	
C 07 D 487/04	1 4 0
A 61 P 9/00	
A 61 P 25/28	
A 61 P 25/18	
A 61 P 37/00	
A 61 P 29/00	
A 61 P 31/12	
A 61 P 19/00	
A 61 P 35/00	
A 61 P 15/10	
A 61 P 27/06	

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月18日(2008.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

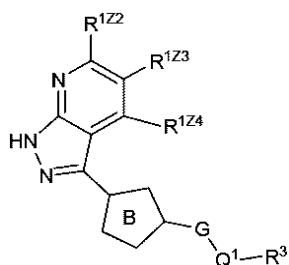
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式 I I の化合物、またはそれらの薬学的に受容可能な塩：

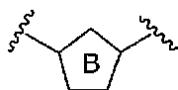
【化 1】



II

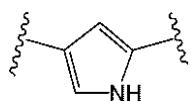
ここで、

【化 2】



は、

【化 3】



である；

R¹Z²、R¹Z³ および R¹Z⁴ の各々は、H である；

G は、-CO- である；

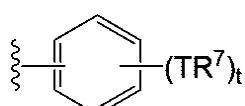
Q¹ は、-NR² であり、ここで、R² は H である；

R³ は、Q²-Ar¹ である；

Q² が、-(CHR⁶)_q- であり、q が、1 であり、そして各 R⁶ が、H である；

Ar¹ は、

【化 4】



であり、ここで t は 1 または 2 である；そして

TR⁷ は、-F、-Cl、-CN、-NH₂、-CH₃、-CH₂CH₃、-CH(C

H₃)₂、-OR^x、-OCF₃、-NR^xSO₂R^x、-NR^xSO₂N(R^x)₂、

-COOC(CH₃)₃、-OSO₂CH₃、-SO₂N(R^x)₂、または-SO₂R

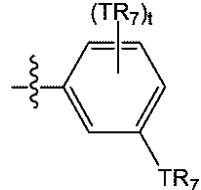
x から選択され、ここで、R^x が、H または C₁~₄ アルキルから別個に選択される、

化合物、またはそれらの薬学的に受容可能な塩。

【請求項 2】

Ar¹ が、

【化 5】

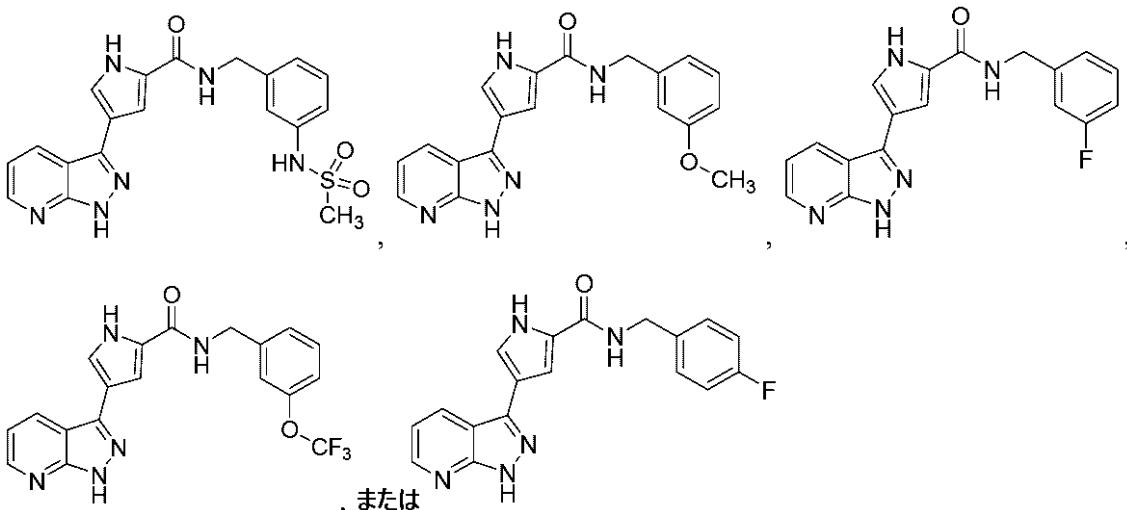


であり、ここで t は 0 または 1 である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

前記化合物が、

【化6】



から選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

請求項1～3に記載の化合物の有効量と、薬学的に受容可能なキャリア、アジュバントまたはビヒクルとを含有する、組成物。

【請求項5】

さらに、化学療法薬または抗増殖薬、抗炎症薬、免疫調節剤または免疫抑制剤、神経栄養因子、循環器病を治療するための薬剤、破壊性骨障害を治療するための薬剤、肝臓病を治療するための薬剤、抗ウイルス薬、血液疾患を治療するための薬剤、糖尿病を治療するための薬剤、免疫不全障害を治療するための薬剤から選択される治療薬を含有する、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

細胞培養物；哺乳動物から得られる生検物質、唾液、尿、糞便、精液、涙液、またはそれらの抽出物から選択される生体試料におけるR O C K キナーゼ活性を阻害する方法であって；該方法は、該生体試料を、請求項1に記載の化合物または該化合物を含有する組成物と接触させる工程を包含する、方法。

【請求項7】

増殖障害、心臓障害、神経変性疾患、精神障害、自己免疫疾患、臓器移植に関連した病態、炎症障害、免疫媒介障害、ウイルス性疾患、または骨障害から選択される疾患状態または障害を治療するかその重症度を軽くするための組成物であって、該組成物は、請求項1～3のいずれか1項に記載の化合物を含む、組成物。

【請求項8】

前記疾患、病態または障害が、高血圧症、アンギーナ、狭心症、脳血管収縮、アレルギー、喘息、末梢循環障害、早産、癌、勃起不全、アテローム性動脈硬化症、脳血管攣縮、冠動脈攣縮、網膜症、緑内障、炎症障害、自己免疫疾患、A I D S、骨粗鬆症、心筋肥大、虚血／再灌流誘発傷害、内皮障害、アルツハイマー病、前立腺肥大症、血管平滑筋細胞増殖、心筋肥大、マリグノーマ、内皮障害、クローン病、大腸炎、神経突起外殖、レイノード病または前立腺肥大症である、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

前記疾患、病態または障害が、緑内障である、請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

前記疾患、病態または障害が、アテローム性動脈硬化症、高血圧症、勃起不全（E D）、再灌流／虚血、脳血管攣縮または冠動脈攣縮である、請求項7に記載の組成物。